

■2013年1月4日（金）三が日明け・平日初トークイベントを開催しました！

※トーク：映画に登場の木下愛さんとお友だち（吉川結美さん、木下美穂さん）×三浦淳子監督



2013年・三が日明けの平日初の劇場上映。仕事始めの方も多し中、たくさんの方にご来場いただきました！上映後の劇場トークは、映画に登場の三人娘・木下愛さんと お友だち（吉川結美さん、木下美穂さん）が、駆けつけ、参加してくれました！

映画のスクリーンから飛び出してきたすっかりオトナになった三人…昔話をするうちに、たちまち同時にタイムスリップ。キャッキヤと盛り上がる彼女らの傍らには、＜親戚のおばさま＞のようにあたたかく見守り、一緒に楽しむ三浦淳子監督がいました！それぞれの映画を観ての感想はじめ、三人での遊びのなかで一番好きだったことや、愛ちゃんが不登校だったこと、三浦監督の撮影についてなど、当時の思い出を語っていただきました！そして現在。。



■木下愛さん：記憶の無いシーンが結構あった。単純に自分の中の記憶を辿っていくというか、思い出のアルバムをめくるように、今日も笑いながら観ていた。

生活のなかで朝が憂鬱だったのは覚えている。撮影については、もともと叔母（三浦監督の親友）が写真を撮る人でその延長で違和感なかった。現在：2012年3月に美大卒業後、東京で仕事をしている。今後作る仕事に携わりたい。東京でもう少し頑張りたい。



■木下美穂さん：恥ずかしくて…でも、三人で遊んでいた頃を思い出しながら「懐かしいな」と思い観た。愛ちゃんが不登校だったことは覚えていない。全く意識していなかった。撮影については、最初は「なんでいるのかな、なんで撮られているのかな」と少し思った。川遊びやピクニックで草原を転がったりするのが楽しかった。現在：高校卒業後、地元・長野県の菓子メーカーに就職。遅番が大変。音楽ライブに時々東京に来ている。



■吉川結美さん：すごく恥ずかしい。でもあのときは本当に楽しくて、朝起きたらすぐ適当に着替えて遊びに行ってた。宿題もせず、お昼もろくに食べないで夕方遅くまで遊んでいた。とにかく楽しかったのですごく懐かしい。撮影については全く違和感なく一緒に遊んでいるという感覚。「ごっこ遊び」人物設定をし、私はリカちゃんになりきって遊んでいた。現在：東京で薬学の大学に通っている。今春、卒業後は長野の病院に就職予定。

遊びの話題は、他にも、川べりのテトラポットの「宮殿設定」や、「タイタニックごっこ」、その前を通るときは腐敗の胞子が肺に入るので息をしてはいけない「ナウシカの森」、殺人事件の寸劇をして推理をしあう「殺人ごっこ」（被害者役は美穂さん、探偵は結美さんが多かったとか）…、次から次へと尽きませんでした！

### ■三浦淳子監督

愛ちゃんが不登校になったばかりのとき、お母さんが試行錯誤をする中で愛ちゃんが楽しくなるように、例えば「みんな遊びに来て」という風に、よそからお客さんやお友だちを呼んだりしたことで、私も誘ってもらって仲間に入れてもらった。

小学校時代は泣き虫で、学校に行くのが憂鬱な時期もあったが、親に心配かけたらいけないと思い、やり過ごしていた。人間は楽しみながら学び成長できるとよい。

愛ちゃんたちをみていて、自分がやりたいことをやって、心に忠実に生きていたことが羨ましかった。だから一緒にくっついて歩いて、遊んでもらった。自然という環境もあるが、自然や道具があってもなくても遊べる子たち。このような遊びのなかでクリエイティビティが生まれ、育っていくのかな、と思った。



劇場トーク後には、1Fカフェ前でサイン会。みなさん、次々に三人娘の元へ。その後カフェ THEOにてお客さま交流会。スパークリングワインを愛ちゃんがあげ参加者のみなさんと乾杯！  
～ご来場いただいたみなさま、ありがとうございました～

